

食のみやこフェスティバル

6月23日(土)・24日(日)の2日間、倉吉市大御堂廃寺跡において「第8回中部発！食のみやこフェスティバル」が開催され、学生・教員が参加しました。

23日は、鳥取短期大学生活学科食物栄養専攻の学生と教員が、「食材ロス」を減らすために考案した三朝神倉(かんのくら)大豆のおからを活用した「手づくりおからケーキ」を販売するブースを出展し、大好評のうちに用意した300個が昼過ぎには完売しました。

24日は、鳥取短期大学幼児教育保育学科学生による「うたのおにいさんおねえさんスマイルコンサート」が、元気いっぱいダンスと歌で会場を盛り上げ、鳥取看護大学のダンスサークル「TCN響」もパワフルなダンスを披露しました。また、鳥取看護大学の「まちの保健室」では、学生・教員、まめんなかえ師範が血圧や骨密度、体脂肪などの測定を行い、年配の方、親子連れなど106名の参加がありました。



●まちの保健室（拠点型）

7月18日(水)に「まちの保健室」を鳥取看護大学で開催しました。この日は通常の測定項目以外に、タッチパネルで質問に答えていただく「もの忘れ相談プログラム」も実施しました。ミニ講話は「こころとコミュニケーション」と題して、古典文学に触れるなど、いつもと少し違った内容となり、みなさん熱心に聞いておられました。

「まちの保健室」は、今後外国人の方も参加できるよう、国際交流フェスティバルなどでも実施していきます。

●大学見学会

湯梨浜町「橋津おおぞら会」(11名)、湯梨浜町「湯梨浜文化大学」(70名)、倉吉市「上井公民館」(18名)の方々が大学見学にお越しください、鳥取看護大学・鳥取短期大学、絣美術館・絣研究室を見学されました。グローバルセンターでは大学見学会を随時承っています。お気軽にお問合せください。



新センター長就任あいさつ



鳥取看護大学
看護学部看護学科
あらかわ みつえ
教授 荒川 満枝

今年度よりセンター長を拝命しました荒川満枝と申します。本センターは開設2年目を迎えました。両大学が地域に貢献し世界と繋がる大学であるために、大学と地域・世界の橋渡しと、先生方の研究環境整備のお手伝いをしたいと考えています。センターへは地域や世界から日々色々なお話が舞い込み、面白いくらいバラエティに富んだ職員が、真心を込めて対応しております。一度覗きにいらっしやいませんか？

グローバルセンターをご利用下さい

鳥取看護大学・鳥取短期大学では、個人・団体による大学見学会、講演会講師の依頼、大学の施設利用や教員の専門分野に関するご相談などに随時対応しています。

詳しくはグローバルセンターまでお問い合わせ下さい。

<発行> 鳥取看護大学・鳥取短期大学グローバルセンター 〒682-8555 鳥取県倉吉市福庭854
TEL:0858-27-0107 FAX:0858-26-9138 E-mail:glocal@ns.cygnus.ac.jp

<印刷> 有限会社 矢積印刷 倉吉市宮川町2-36



鳥取看護大学
鳥取短期大学

グローバルセンターだより
Glocal Center

第3号 2018.9.6

鳥取短期大学絣美術館20周年・ 絣研究室30周年記念事業



江戸末期から織り始められ、200年の歴史を持つ鳥取県倉吉市の伝統工芸「倉吉絣」は、弓浜絣や広瀬絣と並ぶ山陰を代表する三絣絣の一つです。倉吉絣の技術保存・後継者育成、伝承・集中展示を目的に開設した鳥取短期大学絣美術館・絣研究室は、平成29年度に絣研究室が丸30年、絣美術館が丸20年を迎えました。絣研究室の修了生は100名を超え、活動はますます活発になっています。

7月14日(土)～22日(日)の期間で倉吉博物館にて、研究生・特別研究生の修了作品や修了後に製作した作品(着物128点のほか、タペストリーや小物28点)を一堂に展示した絣研究室30周年記念展を開催し、多くの来場者で賑わいました。訪れた方たちは倉吉絣の色合いや織り出された複雑な柄をじっくりと鑑賞されていました。

平成29年10月、絣美術館・絣研究室 吉田公之介館長が「第72回新匠工芸会展」において最高賞である富本賞を受賞しました！

吉田館長コメント

私は、「平面の立体表現」、「技法と技法の組合せによる表現」を製作の柱とし、ここ数年「光」と立体感を表現し製作してきました。その成果を認められ大変嬉しく思います。これを機にさらなる作品を制作していこうと思います。

絣研究室30周年記念展は、作品から修了生それぞれの思いが感じられ、いい展覧会になったと思います。約800名の来場者があり、お褒めの言葉をたくさん頂戴しました。絣美術館20周年記念展はまだまだ続きますが、倉吉絣を知る上でも貴重な展示会になったと思います。本当にありがとうございました。



受賞作「a streak of light」series VI



【絣美術館20周年企画展】無料

日程 上期『型紙展』平成30年6月19日(火)～9月28日(金)
下期『下絵展』平成30年10月23日(火)～平成31年1月31日(休)
会場 鳥取短期大学 絣美術館・絣研究室2階(鳥取県倉吉市福庭854)
休館日 土・日、祝日、その他大学の休業日(お盆休み、年末年始など)

【絣研究室修了作品巡回展】無料

鳥取県東部 ◆9月22日(土)・23日(日) イオンモール鳥取北
(鳥取県鳥取市晩稲348)
島根県 ◆11月17日(土)・18日(日) 松江カラコ工房
(島根県松江市殿町43)

地域交流

倉吉打吹まつり「みつぼし踊り大会」に初参加！特別賞を受賞！



8月4日(土)、地域貢献と情報発信を目的として、本法人によるチーム「地域とともに鳥取看護大学・鳥取短期大学踊り子連」がみつぼし踊り大会に参加し、まつりを盛り上げました。当日は学生および教職員の総勢60名が参加し、沿道の方々からたくさんのご声援をいただきました。本番に向けた練習では、指導者をお招きし、学内で練習を重ねました。その結果、26チームが参加する中、本チームは「特別賞」を受賞することができました。今後も地域の活性化に向けた活動を積極的に取り組んでいきます。



打吹天女コンテストで鳥取短期大学の梅原 彩さんが「打吹天女」に選ばれました！

8月5日(日)、第42回倉吉打吹まつり「打吹天女コンテスト」が倉吉市天神川河川敷飛天夢広場特設ステージで行われ、鳥取短期大学 幼児教育保育学科2年生の梅原 彩さんが見事打吹天女に選ばれました。今後1年間、倉吉市のPR大使として、県内外のさまざまなイベントで活躍します。みなさまの応援をよろしくお願いいたします。

その他の取組み

- ★「第9回新入生歓迎会ケーキバイキング（上井商工会主催）」(4/21)
- ★「公開講座（倉吉市委託事業）」(6/15・6/29・7/20・8/3・8/17)

海外研究・交流

マレーシア大学サバ校とテレビ会議

4月26日(木)、鳥取看護大学会議室においてマレーシア大学サバ校（以下UMS）とテレビ電話会議を行いました。UMSはマレーシアボルネオ島のサバ州コタキナバル市に医学部がある大学で、将来看護学部を設置を検討しています。

当日は、UMSのサトーレ医学部長、医学部教授と本学の荒川グローバルセンター長が英語による会議を行い、兼任研究員と職員が同席しました。

UMS看護学部設立にあたり鳥取看護大学のカリキュラムや今後の訪問日程、第50回アジア太平洋公衆衛生学術会議、学術協定締結などについてを話しました。距離は遠くてもUMSを身近に感じることができるとても有意義なテレビ会議となりました。



English Cafeも開催

5月9日(水)、6月6日(水)、7月4日(水) 学生会館において『English Cafe』を開催しました。お茶を飲みながらリラックスした雰囲気の中で、気軽に英会話を楽しむことを目的に学生と教職員が集まりました。

“Let's talk!”と題して、毎回異なったテーマでtalkを行い、英語の表現に苦戦しながらも終始笑いの絶えない楽しいひとときを過ごしました。



地域へはばたく学生を PICK UP!

こども食堂・学習支援 概要

こども食堂は、食事を通して子どもたちと地域の大人たちが触れ合うことのできる交流の場所です。一緒に遊んだり、宿題をしたりと家庭でも学校でもない居場所のひとつとして鳥取県内においても広がりを見せています。

本学では、昨年よりオレンジリボンサークルに所属する学生（看護大・短大）を中心として、こども食堂や学習支援活動に参加しています。（オレンジリボン：こどもの虐待防止活動）現在は、特別研究や関連授業の受講生なども取組みに参加し、県内8カ所で活動しています。

学生インタビュー

【こども食堂（夢倉）】

生活学科食物栄養専攻2年

あつた はるか あいさか み ゆ
熱田晴夏さん、相坂美結さん

●活動内容

料理の盛り付け、食事の配膳、片付け、洗い物
利用者さんとのコミュニケーションなど

Q. 活動を通して学んだことは？

食事を作って提供することは普段の実習でやっていいますが、こども食堂でも、おいしそうに見える盛り付けを教えてくださいることがあって、「食べてもらう人のことをこんなに考えているんだ」と大変参考になります。

Q. 活動の経験をもとにどのように活かしたいですか？

利用者さんのアレルギーをスタッフの方は把握していて、そういった配慮も勉強になります。

【こども食堂（テラハウス）】

看護学部看護学科3年 えんどうり ほ
看護学部看護学科3年 遠藤里歩さん

●活動内容

洗い物、こども達との遊び、利用者さんとのコミュニケーションなど

Q. 活動して嬉しかったことは？

こども食堂の雰囲気に慣れず、ごはんを食べていなかったこどもがいたんですが、コミュニケーションを取ろうと一緒に遊んだら最後はべったりとくっついて、仲良くなれたことです。

とっとりプラットフォーム5+α

学生による消防防災活動サークル「ToCoToN（トコトン）FAST」を結成しました

とっとりプラットフォーム5+αが取組む課題の1つである鳥取県内の自主防災組織率の向上に寄与することを目的とした、鳥取看護大学・鳥取短期大学の学生が消防防災活動サークル「ToCoToN（トコトン）FAST」（Tottori College & Tottori College of Nursing Fire And Safety Team）を結成しました。

今後、鳥取県が行う消防防災イベントの運営スタッフや災害時のボランティア、さらには地元地域の消防団への加入促進活動に取り組めます。また、学内で行う地震・火災を想定した避難訓練などにも積極的に関わり、学生・教職員、地域の方々の防災意識の向上に努めます。

Q. 活動の経験をもとにどのように活かしたいですか？

将来目指している看護師は、地域の人々の生活にも関わることがあるので、こども食堂も1つの知識として活かそうです。

【こども食堂

（小鴨さんさんプラザ）】

幼児教育保育学科2年

もつねもも か はしもとりん な
元恒桃香さん、橋本莉奈さん

●活動内容

こども達と一緒に料理、利用者さんとのコミュニケーションなど

Q. 活動を通して学んだことは？

こども達が「また来たい」と思えるような温かい雰囲気を作ることです。積極的に料理を手伝いたいこどもの思いを危険がない程度に尊重してあげることなど、色々なこども達とのコミュニケーションをこれからもっと大切にしていきたいと思っています。

Q. 地域の方へ一言お願いします。

こども食堂を多くの方々に知ってもらって、ぜひ参加してみてくださいと思います。そこで気づくことがたくさんあります。

【学習支援（日吉津村）】

幼児教育保育学科1年

なごしち か ながせ あやみ
名越千華さん、永瀬純美さん

●活動内容

小学生(5・6年)の学習支援・コミュニケーションなど

Q. 活動して嬉しかったことは？

教え方が上手ではないけれど、ヒントを出して問題が解けた時に「先生ありがとう」と言われるのが一番嬉しいです。

Q. 活動の経験をもとにどのように活かしたいですか？

将来保育士になるために実習で接する年齢は5歳以下ですが、小学生と接して、それぞれの年齢層の違いを学びました。ボランティア活動での「気づき」が学びにつながり、将来に活かそうです。

「とっとりプラットフォーム5+α」とは、鳥取県内の5つの高等教育機関と自治体および産業界団体が連携・協力して県内の高等教育および地域のさらなる活性化を図ることを目的として2017年に形成された組織です。

